



# つじ隆一 市議員 議会活動報告

社民党仙台市議団

(TEL 214-8717  
FAX 711-3453)

宮城野区版

NO. 104

〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ谷東2-5-24 TEL 251-4064 FAX 253-2588

2019. 6. 30発行

事務所 〒983-0031 仙台市宮城野区小鶴1-1-18-101 TEL・FAX 252-9511 E-mail : fureai@lilac.plala.or.jp



代表質疑を行うつじ議員(6/14)

構想を策定するとともに、補正予算においては、整備・運営費として令和7年までの5年間で4億9300万円の債務負担行為の設定も提案されました。

条例関係では、地方税法の改正に基づき、環境性能に配慮した軽自動車に軽減した軽自動車の税率を軽減す

郡市政折り返しへ  
「人とまちへの投資」の  
市政運営の定着を  
― 令和元年第2回定例市議会終わる ―

### 計15議案を審査

令和元年第2回定例市議会は、6月7日から24日まで開かれ、市提案が14件、議員提案が1件の、計15件の議案審査を行いました。

一般会計の補正予算では、錦ヶ丘中学校に防災対応型太陽光発電システムの整備費として3200万円余が計上されました。一方、市が道路照

明灯の電力契約を解除し忘れた等の問題に関連して街路灯電気料を約1700万円減額したため、差し引き1500万円余の小規模なものとなりました。

### コールセンターの整備へ

また、市民からの市政に関する問い合わせを二元的に受け付ける「コールセンター」等の整備に向けて、整備基本

近年、猫がペットとして人々の生活と深く関わりを持つてきている中、飼い主のない猫や飼養放棄された猫の繁殖が地域の生活環境に悪影響を及ぼしていることなどが深刻な課題で、不妊去勢手術の徹底などが求められています。

そのうち、市議会では全会派が賛同して条例制定の議論が進められ、議員提案により上程され、第2回定例会で全会一致で可決成立しました。

条例では、市民の理解と協力の下、市、飼い主、販売業

### 市税収入の悪化を招く国の「地方税法改正」

とともに、市税である法人市民税を国税の地方法人税に付け替えることによる市税条例の改正案が提案されました。しかし、これにより、交付税措置で補填されることは言えず、市税収入が63億円も減収となるなど、市政運営への悪影響が懸念されることとなりました。

その他、放課後児童支援員の

の研修を政令市の本市も行うことができるようにするための改正案、東日本震災の防災集団移転跡地の荒浜地区で観光果樹園を整備するための建築物制限を緩和するための条例改正案、「水道法」の改正を受けての指定給水装置工事事業者指定手数料の改定、みやぎ台ニュータウンの地域下水道を公共下水道処理区域とするための条例改正案等も上程されました。

者、獣医師等が一体となった取り組みによって、猫の苦手な人も含め誰もが猫と共生することができる社会の実現をめざす、という趣旨となっています。



### 「人と猫との共生に関する条例」を議員提案で制定

# 地方税の国税への 付け替え問題などで代表質疑

## コールセンター整備事業

6月14日に、社民党市議団を代表して質疑を行いました。

まず、コールセンター整備事業について、全国画一的ではなく、仙台らしい事業にすべきことと、行政情報・個人情報

情報の漏洩対策などを求めました。これに対して「本市独自の事業や施設はもとより、イベント、年中行事のご案内など、特性、特徴を踏まえた

運営とする、個人情報保護条例や行政情報セキュリティポリシー等に即した厳格な管理をしていく」と答えました。

## 地方分権に反する

## 地方税法の改正

地方税法の改正に伴い、地方自治体の主要な財源でもある法人市民税の一部を国税の地方法人税に付け替え、地方交付税措置の財源にすることになりました。本市の影響は

## 難航する「街路灯電気代問題」

仙台市が、道路照明灯（街灯）のLED化に伴う工事の際に、電力契約を解除せずに

電気料金を払い続けた事例や新たに設置した街灯の未契約による未払いがあることが判明しました。その過払いは約9200万円で、未払いは約2300万円となることが

報告されています。市当局はこれまでその説明作業に取り組みとともに、東北電力との協議を進めてきました。



しかし、6月に入っても「双方が共通認識に立ち協議が思う状況に至っていない」と、協議は難航しています。未払いは市が負担すべきことは当然ですが、過払いは公金であることから、協議調整を進めなくてはなりません。一



63億円にもなり、後の交付税措置も不透明で、地方財政運営にも影響を及ぼすことから、国に意見を言うべきと質したのに対して、「地方が自立的

方、なぜこのような事態が生じたのか、担当職員の責任問題もありますが、契約のあり方、市担当者及び街灯事業を請け負う業者と東北電力の間の事務処理のあり方なども問われています。

市議会は、これまで議員協議会を開くなど、当局に説明を求めるなどしてきましたが、引き続き、これらの点の解明と責任の所在などが問われているところと答えました。

## つじ隆一当面の 主な行動予定

- 7. 1 仙台市制130周年記念式典  
燕沢地域ケア会議、  
燕沢地区交通検討会
- 7. 3 宮城野区区民活動表彰式、  
納涼名刺交換会
- 7. 4 参議院選公示
- 7. 13 市立学校職員労組定期大会
- 7. 19 経済環境委員会
- 7. 21 参議院選投票日
- 7. 22 燕沢地区民生委員推薦委員会
- 7. 28 燕沢学区民まつり
- 8. 10 燕沢各地区盆踊り大会
- 8. 16 仙台市議会議員選挙告示
- 8. 17 菖蒲沢町内会納涼フェスティバル
- 8. 25 仙台市議会議員選挙投票日
- 8. 28 仙台共同募金会理事会
- 8. 30 佐高信政治塾

## 折り返ししの郡市長 の政治姿勢を質す

な財政運営を行うための税財政制度の確立に向け、指定都市とも共同しながら強く要望していく」などと答えました。

郡市長がこの8月で折り返しを迎えるに当たっての政治姿勢を質したのに対し、市長

## 自治体・現場の意見が 反映されない介護保険制度

17年度の介護保険法の改正に伴い、療養型施設として「介護治療院」が位置づけられましたが、仙台市でも進んでいない実態があります。地域包括システムなども含め介護保険制度自体が、地方自治体や介護現場の意見が反映されて

は、「人を育む施策や復興事業などに取り組み、一定の手応えを感じている。市民の皆様が豊かさを実感し、安心して暮らし、持てる力を十分に発揮できるまちの実現をめざして市政運営に力を尽くしていく」と決意を示しました。

市議会は、これまで議員協議会を開くなど、当局に説明を求めるなどしてきましたが、引き続き、これらの点の解明と責任の所在などが問われているところと答えました。

その他、放課後児童支援員の働く環境、児童館のサテライト問題、水道法改正を先取りした宮城県の上下水道事業の民営化となるコンセッション方式への市の対応などについて取り上げました。

## 燕沢地区の地域交通 『のりあい・つばめ』 第Ⅱ試験運行



日に、仙台オープン病院を起終点に地区内を循環し、JR東仙台駅を経由するようにルートも拡大されました。回

燕沢地区の地域交通『のりあい・つばめ』の第2段階の試験運行は、4月2日から9月27日までの半年間取り組まれることになりました。燕沢地区交通検討会で、昨年秋季の第1段階の試験運行における利用者

の意見などを反映した議論が重ねられ、火・水・金曜日に、仙台オープン病院を起終点に地区内を循環し、JR東仙台駅を経由するようにルートも拡大されました。回数券や定期券も発行されます。第1段階の試験運行では、運行経費の2割の運賃収入が目標でしたが、2回目は3割に引き上げられました。そこで、停留所の命名権（ネーミングライツ）など、地域の企業、商店、病院等の協賛金を

数券や定期券も発行されます。第1段階の試験運行では、運行経費の2割の運賃収入が目標でしたが、2回目は3割に引き上げられました。そこで、停留所の命名権（ネーミングライツ）など、地域の企業、商店、病院等の協賛金をいただくことになりました。4月の乗車実績ががんばり少なかったことから、5月には燕沢地区社協の高齢者サロンなどでの説明会を開催する

### 地域交通の新しい電動式交通システムを視察

地域交通の取り組みとして、従来の乗り物とは違う、新しい交通システムの取り組みが全国的に広がってきています。その取り組みの一つに、群馬県桐生市の㈱シンクトウギヤザーが製造し、実践している「電動コミュニケーションングル」（時速19kmの低速走行）があります。社民党市議団は、この先駆的な取り組みに学ぶために、5月8日に会社を訪れ、視察を行いました。ユニークなデザインに加えて、ソーラーパネルを乗せることも可



能で、対面式ベンチシート、車イスリフター付きなど、今後の地域交通のアイテムとして大いに参考になりました。



高齢者サロンで利用拡大への説明会



にいがたお米プロジェクト事務局で

翌日は、「新潟市農業活性化研究センター」と「アグリパーク」の現地視察を行いました。「アグリパーク」は、公的教育ファームとして整備され、農業に触れ、親しみ、

5月9～10日、毎年開催している政令市議会政策研究集会が新潟市で開催されました。今年のテーマは、「農業政策」と「柏崎刈羽原発再稼働と新潟市への影響」でした。原発問題に関しては、「柏崎刈羽原発 裁判の争点と再稼働阻止の展望」と題して、弁護士

### 政令市政策研究集会を新潟市で開催

この研究集会の前後に、市議団は、「フードバンクにいがた」が取り組む、貧困対策として寄付等により寄せられた「お米」をひとり親家庭などに届ける「にいがたお米プロジェクト」の活動を視察しました。また、帰路の途中、さいたま市を訪れ、大宮駅前の「まるまるひがしにつぼん」で東日本の観光連携の取り組みを視察しました。

学ぶ場の提供、農産物の生産・加工、6次産業化の推進、担い手育成などの課題に取り組みんでおり、全国屈指の農業都市・新潟市ならではの施設でした。



宿泊施設を備えたアグリパークで

# つじ隆一の活動日誌

- 4. 2 「のりあい・つばめ」第2段階試験運行  
出発式
- 4. 8 燕沢小入学式
- 4. 9 西山中入学式
- 4.13 仙台市労連「仙教組加盟レセプション」
- 4.14 みちのく宮城鹿児島県人会花見
- 4.17 つるがや団地地域再生委員会
- 4.19 経済環境委員会
- 4.20 燕沢小PTA歓送迎会
- 4.22 第1回仙台市共同募金委員会理事会、燕沢  
地区交通検討会、佐高信政治塾
- 4.27 メーカー宮城県大会
- 4.28 岩切消防分団歓送迎会
- 5. 3 宮城県護憲平和センター総会、  
憲法を活かす宮城県民集会
- 5. 8 社民党市議団他都視察  
(群馬県桐生市、さいたま市)  
政令市政策研究会 (9～10日新潟市)
- 5.10 西山中青少年健全育成連絡協議会
- 5.11 ソキウスせんだい理事会
- 5.13 燕沢学区町内会連合会総会
- 5.14 仙台市労連市議選勝利決起集会
- 5.16 交通政策調査特別委員会
- 5.17 社民党仙台支部連合定期大会
- 5.19 燕沢学区文化振興会総会
- 5.20 燕沢コミュニティセンター運営委員会総会
- 5.21 経済環境委員会、宮城野区職員・選出議員  
意見交換会
- 5.22 つるがや元気会定期総会
- 5.23 連合仙台地協政策学習会
- 5.25 燕沢小・体育振興会大運動会、ソキウス  
せんだい定期総会
- 5.26 石垣のり子後援会事務所開き
- 5.27 燕沢地域ネットワーク会議、佐高信政治塾
- 5.28 燕沢地区社協理事会
- 5.30 第2回定例市議会議案説明、連合宮城自治  
体選総決起集会
- 5.31 東仙台地区社協総会、宮城野区社協地区社  
協会長会議、県平和労組会議・市労連市議  
選勝利総決起集会
- 6. 1 市民と野党共闘で政治を変える集会
- 6. 2 参院選政策学習会
- 6. 3 燕沢地区交通検討会
- 6. 5 鶴ヶ谷東1丁目私道整備説明
- 6. 7 第2回定例市議会開会
- 6.12 仙台市総合防災訓練
- 6.13 本会議(～19日)
- 6.14 本会議で代表質疑
- 6.15 燕沢地区社会福祉協議会第19回定期総会
- 6.18 反核平和の火リレー出発式
- 6.20 経済環境委員会
- 6.21 第1回燕沢児童館地域連絡会
- 6.22 新田地区社協総会、佐高信政治塾
- 6.24 第2回定例市議会閉会
- 6.27 地域交通他都市視察(会津若松市)
- 6.29 つじ隆一後援会事務所開き



鶴ヶ谷団地再生委員会

鶴ヶ谷団地が整備されて50年。高齢化や団地の建て替えなどの課題が明らかになって

きています。地域住民が主体となつて、次の50年をめざす「NEXT50」と名付けられた活動が動き出しました。4月17日にはその再生委員会、5月22日には再生委員会の中期を担う「つるがや元気会」の定期総会で、昨年11月につじ議員が実施した、日本で初めて開発され、同様の課題から再生事業に取り組んできた大阪府豊中市・吹田市にまたがる千里ニュータウン再生事

業の視察報告を行いました。とくに、千里もそうでしたが、人が集い、交流する施設等が集中するセンター地区の再整備や6丁目市営住宅団地の建て替え事業の重要性などを訴えました。



つるがや元気会定期総会



3月末に開通したバイパスに架かる市道

3月末、20年来の地域要望でもありました、燕沢と岩切をつなぐバイパスに架かる市道が拡幅されました。また、

2年前から要望していた鶴ヶ谷東1丁目の私道の舗装について、今年度の予算が確保でき、事業が動き出しました。



鶴ヶ谷東1丁目の私道

## 鶴ヶ谷団地再生事業 つじ議員が千里ニュータウン視察を報告

住みよい地域づくりに奮闘しています！